

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、摩擦・潤滑技術を基盤とした製品とエンジニアリングをもってお客様に貢献し、社会の繁栄に寄与することを基本理念としています。

また、スピードある「開かれた経営」を行い、株主・顧客・社員の信頼と期待に応え、社会とともに成長発展をめざすことを念頭において経営しております。

(2) 目標とする経営指標

当社グループは事業・製品領域の拡大による売上高の伸張と、継続的な原価低減活動による営業利益率の向上を重要な経営指標と位置付けております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略および対処すべき課題

グローバルな自動車マーケットは新興国を中心に拡大を続けるものと期待されます。その対応として、新興国市場での価格競争力確保と地球環境保全のための新製品提供の重要性が、より高まっていくと認識しております。

この環境変化をビジネスチャンスとして捉え、グループ一丸となり継続的な成長を実現するため、当社グループは2013年3月に、2013～2015年度の中期経営方針を策定いたしました。2014年度は中期経営経営目標の達成を確実なものとするため、「活動の3軸」の具体的な活動内容に「生産拠点の自立化によるグローバル生産体制の強化」と「事技部門生産性の画期的な向上」を加え、推進活動を加速させてまいり所存です。

■中期経営方針

「信頼されるグローバル企業を目指して」

- ・強固な経営基盤のもと、継続的に新技術・新製品を展開する
- ・迅速な海外生産展開により良品廉価製品をグローバルに提供する

■中期経営方針 活動の3軸

1. 製品・製造領域のグローバルな拡大

- ・軸受のグローバル市場を的確に把握し、適時・適地に的確な製品を供給する
- ・資源、環境動向を先取りした製品を開発・提供し社会に貢献する
- ・生産拠点の自立化により、グローバル生産体制を強化する

2. 製品技術・生産技術の革新

- ・トライボロジーを軸に軸受から潤滑システムへ技術領域を拡大する
- ・グローバル競争に勝ち抜く、革新的標準ラインを構築する

3. 人財力の強化

- ・マネジメント力を向上する
- ・社員が自ら成長できる育成環境と会社風土を創造する
- ・事技部門の生産性を画期的に向上する

これらの活動を通じて、当社グループは世界のステークホルダーの皆様信頼される企業を目指し、努力してまいります。